

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第4回 豊島区商工政策審議会
事務局（担当課）		文化商工部 生活産業課
開催日時		令和3年10月26日（火） 10:00～11:00
開催場所		としま産業振興プラザ IKE・Biz6階 多目的ホール
議 題		1 開会 2 議題 (1) 豊島区産業振興指針 中間答申について 3 答申式 (1) 開式 (2) 答申 (3) 区長挨拶 (4) 閉式 4 その他（意見交換） 5 閉会
配付資料		資料1 豊島区産業振興指針 中間答申書 <参考> 参考1 豊島区振興政策審議会 委員名簿 参考2 IKE・SUN PARK FARMERS MARKET（チラシ） 参考3 豊島区プレミアム付商品券（チラシ）
公開の 可否	会 議	公開 傍聴人数0人
	会 議 録	公開
出席者	委 員	郭 洋春、鴨田 和恵、平川 浩一、今井 敏弘、千野 富久、 遠藤 陽子、丸山 牧夫、平野 吉彦、志村 幸輝、熊谷 雅敏、 島 永吏子、緑川 涼佳
	そ の 他	豊島区長、文化商工部長、生活産業課長
	事 務 局	生活産業課

# 審議経過

## 1 開会

生活産業課長： 定刻となりましたので、「第4回豊島区商工政策審議会」を開催します。本日は、お忙しいところご出席いただき、誠にありがとうございます。進行をさせていただきます、豊島区生活産業課長の高橋です。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、まず、副会長の方よりご挨拶をいただきます。

副 会 長： 皆様おはようございます。本日は答申式ということで、ここまでのどり着けました。皆様よりご意見頂戴いたしまして、ありがとうございます。それではこれで挨拶とさせていただきます。

生活産業課長： ありがとうございます。それではこれより議題に入りますので、ここからの進行を副会長に引き継がせていただきます。よろしく願いいたします。

## 2 議題

### (1) 豊島区産業振興指針 中間答申について

副 会 長： 初めに会議の公開についてお諮りいたします。ここでの議論の内容を多くの区民の皆さんにも知ってもらうため、会議や会議録を公開したいと思います。区では審議会等の会議について、公開を原則としており、これまでの会議および会議録についても、公開をしておりましたが、皆さんいかがでしょうか。

～一同賛同～

副 会 長： 続きまして、傍聴者の確認をさせていただきます。事務局、いかがでしょうか。

生活産業課長： 本日の傍聴希望者はありません。

副 会 長： それでは議題に入る前に、本日の流れについてご説明いたします。  
議題（1）でこれまで皆さまと作り上げてきた、豊島区産業振興指針中間答申書の内容について事務局よりご説明いただき、最終確認いたします。  
その後答申式を執り行いたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

副 会 長： それでは、議題に入らせていただきます。

議題（１）豊島区産業振興指針 中間答申について、事務局より説明させていただきます。

生活産業課長： それでは令和３年度豊島区商工政策審議会 中間答申について説明させていただきます。

この２年間の協議した内容について、区長へ答申を行います。

新型コロナウイルスの感染症の影響により、ニューノーマルな新たな日常における企業の働き方改革・新たな価値の創造が求められている状況です。また豊島区が「SDGs 未来都市」、「自治体 SDGs モデル事業」にダブル選定されたことにより、これらの取り組みも進めていかなければならないというところで、指針に要素を盛り込み、行政・金融機関・商工団体・大学など民間主体が一丸となり“オールとしま”で産業振興政策を推進する必要があります。

その中で重点項目としまして三点上げています。

まず一つ目の重点項目、中小企業への多角的事業支援を短・中期的に取り組むことが課題となっております。事業者、個々の経営課題や時代の変化に迅速且つ的確に対応していくことが今後必要になっていく状況の中で、こういった課題を受け止めて自立的に産業が発展するまちというところで後継者の確保と育成、M&A や DX 推進等の多面的なビジネスシェアを積極的に展開すること、また、一定の成果をあげております女性起業支援に加えまして、アクティブシニアや外国人など多様な人材の起業支援を実施させるということが必要というのが重点政策の一つ目となっております。

重点政策の二つ目として、商店街活性化による地域経済の発展ということで、これは中・長期的に取り組むべき課題となっております。区内の多くの商店街で店舗数や会員数減少、空き店舗の増加、後継者不足、来街者や売上減少というような様々な課題を抱えている状況です。商店街や事業者が地域産業の核となり、次世代を担う人材確保と育成を進めるとともに、地域の文化・観光資源などを生かした賑わいや魅力を発信する事業を推進して、地域コミュニティの活性化実現を図っていく。また多様な来街者が誰一人不自由さを感じることなく安全安心にまちを楽しめるようにするために、街路灯の改修、キャッシュレスなどのデジタル化導入、適時の施設整備実施、商店街の利便性向上に取り組むことを挙げています。

三つ目の重点政策は、長期的に取り組むべき課題として、インバウンド再開に向けた推進体制の強化となっております。ストレスなく情報を入手できる環境の整備や観光情報発信の強化を進め、またソフト・ハード両面で来街者の誰もが快適に過ごせるまちづくりが必要になってきています。そのために DX の活用、スマートフォンなど手元の ICT ツールによる情報発信の強化、外国語に対応可能な観光のボランティアガイドの確保と育成等推進し、豊島区の「おもてなしの実践の

場」を提供していくことが重点的に取り組むべき課題として答申を出しております。私から説明は以上となります。

副 会 長： ありがとうございます。委員の皆さま、この内容で問題ないでしょうか。

～委員了承～

副 会 長： 異議なしのため、この内容で答申させていただきます。

生活産業課長： これより答申式を始めさせていただきたいと思います。答申式中の進行につきましては、事務局が進行させていただきます。よろしくお願いいたします。

### 3. 中間答申式

#### (1) 開式

生活産業課長： これより「豊島区産業振興指針 答申式」を執り行いたいと思います。次第に記載の流れに沿って進めさせていただきます。

#### (2) 答申

生活産業課長： それでは、答申に移りたいと思います。  
豊島区商工政策審議会を代表し、会長より答申していただきたいと思います。

会 長： まずはコロナ対策におきまして豊島区は区長を先頭に非常にすばらしい対応をされたこと、区民を代表しまして心より御礼申し上げます。この間、商工政策審議会におきましては豊島区が今よりも更に光輝く都市になるように様々な会議を重ねて参りました。本日はその答申ができあがりしましたので、区長に答申をお渡しし、今後の産業振興に是非とも応えていただければと考えております。まず、最初のところだけを読ませていただきます。

豊島区長 高野之夫様

豊島区産業振興指針の今後の方向性について、令和元年度・2年度の進捗状況に基づき審議した結果、下記のとおり答申いたします。

令和3年10月26日 豊島区商工政策審議会 会長 郭 洋春

今回の産業振興政策につきましては重点政策を三点ほど上げさせていただきました。

途中、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたので、今後は“ニューノーマル（新たな日常）”における企業の働き方改革や新たな価値の創造というものを豊島区においても実行していただきたいと考えております。

また、令和2年7月に豊島区が「SDGs 未来都市」「自治体 SDGs モデル事業」に選定されたことを受け、本指針にこれらの要素を盛り込み、行政・金融機関・商工団体・大学等民間主体が一丸となり、“オールとしま”で産業発展をぜひ実行していただきたい、そのために短期・中期・長期的観点から次のとおり要望いたします。

まず重点政策として、短・中期としまして中小企業への多角的事業支援でございます。

ご存じの通り、新型コロナウイルス感染症の影響は経営基盤の弱体化、特に中小企業におきましては非常に大きな困難を強いられております。是非とも中小企業の支援のために自律的に産業が発展するまちの実現に向けて、後継者の確保と育成、更にはM&AやDX推進等の多面的なビジネス支援を積極的に展開していただければと思います。

二つ目の重点政策としましては、中・長期の政策としまして、商店街活性化による地域経済の発展でございます。かつて豊島区には100を超える商店街がございました。しかしそれがこの間、87の商店街にまで減少しております。更には、今残っている商店街におきましても多くの商店街で店舗数・会員数の減少や空き店舗の増加、後継者不足、来街者や売り上げ減少などの多くの課題を抱えております。これらの課題を克服すべく、商店街や事業者が地域産業の核となり、次世代を担う人材確保と育成を進めるとともに、地域の文化・観光資源などを活用した賑わいや魅力を発信する事業を推進し、地域コミュニティの活性化を是非とも実現していただきたいと考えております。

三点目の重点政策は長期になりますが、インバウンド再開に向けた推進体制の強化でございます。コロナ禍の中今年行われた東京オリンピック・パラリンピックは無観客という状態で実施されました。現在は緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が解除され街の賑わいが活性化しつつあります。今後は旅マエ・旅ナカを通じてストレスなく情報を入手できる環境の整備や観光情報発信の強化を進めるとともに、ソフト・ハードの両面で来街者の誰もが快適に過ごせるまちづくりが必要であると考えます。その結果「おもてなしの実践の場」であることを豊島区が是非とも証明していただければと思います。以上三点につきまして、答申いたします。是非とも実施のほど、よろしく願いいたします。

### (3) 区長挨拶

生活産業課長： 続きまして、豊島区長より委員の皆さまにご挨拶を申し上げます。高野区長、よろしく願いいたします。

区長： 日頃より、本区の産業振興施策にご尽力を賜り、また皆さまには区政全般に亘りまして尽力を賜りましたことを厚く御礼申し上げます。

本日は豊島区産業振興指針に関する答申、ただいま郭会長からご説明をうけまして本当にすばらしいご答申をいただきました。これも委員の皆さまが2年に渡って様々なご議論を積み重ねた集大成であると感じております。先ほどのお話のように、コロナ禍により大きく社会が変わってきております。区民の生活等々あるいは、先ほどのお話のように豊島区は昨年「SDGs 未来都市」の認定を受けまして、誰一人取り残さない社会に向けて、豊島区が今目指している将来像とまさに軌を一にしているわけでありまして、この、産業振興政策を活かして“オールとしま”で推進していく必要性、特に重点的に取り組む事項を先ほど会長からしっかりと承りました。

そして来年豊島区は90周年の大きな節目を迎えますが、その先の豊島区100周年に向けて、しっかりした豊島区の将来像、目指す方向性をしっかり確認してまいりたい。それにはただいま頂戴いたしましたご意見も十分に真摯に受け止めて、今後の産業施策の推進に活用させていただきたいと思っております。

最近の豊島区の動向についてお話をさせていただきます。昨日はコロナ感染者が17名と1年半ぶりくらいに人数に抑えられてきていますが、これはワクチン接種が大きな効果をあげていると思っております。早々からワクチン接種については豊島方式を取らせていただき、特に高齢者・基礎疾患のある方を中心に精力的・積極的に接種を進めておりまして、昨日現在、65歳以上の高齢者92.7%と希望する方はほとんど100%近くに打つことができている。さらに全体の平均は78.6%と非常に高い接種率です。そして2回目を接種した方も今月には80%達成できるのではないかと思います。3回目の接種に向けても準備をしているところです。ワクチン接種も順調に限なく進んでおります。

そしてコロナで1年近く延びてしまっていた、IKE・SUN PARKのFARMERS MARKETは非常に好評で、埼玉県や友好都市と連携をとったり、区内の業者にも積極的に参加していただいたりすることで、豊島区の活性化につながっているのではないかと思います。

豊島区は文化によるまちづくりを推進しています。昨日東アジア文化都市に今までかかわった都市が一堂にリモートで会議をやりました。未来を作り平和を作るのが文化であるという、有意義な会合をさせていただきました。

豊島区ではこの東アジア文化都市を記念して、毎年11月1日に豊島文化の日の記念式典を昨年からやっております。今年も11月1日、ぜひ豊島文化の日を皆さまとお祝いしながら、文化都市として進展させていただきたい。今回は江戸川乱歩賞の授賞式も1日に行われます。

終わりに、10月24日をもって緊急事態宣言が終了いたしました。営業時間の短縮要請などが解除になったほか、今後は感染拡大防止対策に全力で取り組むとと

もに、経済活動との両立をはかっていく必要があります、引き続き皆さまと連携を密に取りながら、豊島区経済を明るくして参りたいと思います。郭会長様はじめ委員の皆さま本当にこの2年間多大なご協力に感謝を申し上げましてご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

#### (4) 閉式

生活産業課長： 区长ありがとうございました。これにて、「豊島区産業振興指針 答申式」を閉式といたします。この後の進行につきましては、郭会長にお願いしたいと思いません。よろしくお願ひいたします。

#### 4. その他（意見交換）

会 長： まずは委員の皆さまには、これまでの2年間、豊島区産業振興施策の推進におきまして、多大なるご尽力を頂きましたことを私からも改めて感謝を申し上げます。

このメンバーでの審議会は本日が最後ということになります。ですので、皆さま方からこの2年間を振り返って一言ずつご挨拶をいただければと思っております。特にそれぞれのお立場で感じたこと、あるいは今後の産業振興指針について、忌憚のないご意見を賜りたいと考えております。なお、この発言の際は始めにご所属とお名前をお願いできればと思ひます。

委 員： おはようございます。私は豊島区に在住しておりまして、フリーランスの管理栄養士をしております。2年間委員を務めさせていただきました本当にありがとうございました。豊島区に住んでいる期間は長いのですがこの委員を務めさせていただいて、豊島区を見る目というか着眼点が広がったことが私にとって、私の家族にとっては何よりの成果だったと思ひます。以上です。ありがとうございました。

会 長： ありがとうございます。次の委員お願ひします。

委 員： この度は貴重なお役を頂きまして、本当にありがとうございました。私も公募委員でして、フリーランスでアナウンサーや話し方講師をしております。私は5年間豊島区に、住んでいますが、こどもが1歳の時だったので本当に何も知らない状態で、どうやったら子育てができるかとか色々な悩みを抱えていました。今回委員にさせていただいたことで、豊島区の皆さんがどういった活動をされて豊かなまちになるかということを見近で見させていただいたことをとても嬉しく思っています。ありがとうございました。務めている間にこんなご時世には

なってしまうましたが、ますます自宅近くにある店や自分のまわりにこんなに色々な人たちがいるということを知ることができたと思います。子供が学校からイケビズのフェスティバルのチラシをもらってきて、こんな時期だけ楽しめるのかなとわくわくしながら、少しずつ元気に楽しく過ごせるということが感じられますので、これからもまた皆さんと一緒に良いまちに少しでも協力させていただければと思います。本当にありがとうございました。

会 長： 次の委員お願いいたします。

委 員： 僕も2年間本当に勉強させていただきました。皆さまにもご支援いただいて非常によかったと思います。

僕は事業者の人たちの組合をやっているもので、2年間のコロナ禍に皆さまの話をお聞きし、自分の仕事でも非常に活かさせていただきました。特に事業者に対しては、飲食店は協力金の申請や事業者の人たちにとっては持続化給付金や月次支援金が行われています。そういった取り組みの中で感染症とも戦っていかなければいけない、またこれからも with コロナ・アフターコロナの中で感染を抑えながら事業を存続させて、まちを活性化させるために色々と考えていかなければいけないと思います。

目下気になっているのは、コロナ融資を去年の4月以降借りられた方たちの出口戦略というところでは、どのような形で事業者の人たちがやっていくのか、また、こういった仕組みやそういったことを一緒に考え、色々な団体とも事業者とも対策を考えているところです。そういったところではまた色々豊島区にもお世話になると思いますが、“オールとしま”という形で引き続き豊島に生まれ育った者として頑張らせていただきたいと思いますので、今後ともよろしく申し上げます。本当に2年間ありがとうございました。

会 長： 以上3名につきましては公募委員ということで、自らこの審議会に積極的に応募していただきました。ありがとうございました。それでは次の委員お願いします。

委 員： みなさんのお力で大変すばらしい答申書ができたこと、本当にありがたく思っております。ありがとうございます。

この1年数か月、世の中が大きく変わってしまいました。こちらの答申書にもあるように戦後最大の危機であると実感しております。

信用金庫では、金融だけでは地域の発展はないという風を感じておりました、何をすべきかというところで、皆さまのお声をよく聞こうという活動を全店で展開しています。金融面だけでなく、できることは何でもやろうとやっております。改めてこの環境が私たちにも考える機会を与えてくれたと思います。まだまだ



だ未熟なところ足りないところたくさんございますので、今回の皆さまとのご縁を今後も活かしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。ありがとうございました。

会 長： ありがとうございます。次の委員お願いいたします。

委 員： 先ほどお話がありましたコロナ特別融資への出口戦略ですが、私どもはコロナ特別融資というものを一万件以上のお客様に対応させてもらっていますですが、モニタリング・ヒアリングを継続しております。これからコロナがようやく落ち着いてきても、予定通り事業がいかないという可能性も出てまいります。そういった時は要件を移行したり、場合によっては資本制に移していくというような対応をしてまいりますのでよろしくお願いいたします。

豊島に住んでよかったという方・あるいは事業家・起業家に、この場所で事業をやっていてよかったという風に思ってもらいたいと思います。コロナ禍という状況の中でも企業存続していただきたい、この豊島区で商売させたら廃業はさせない、こういう思いです。その思いを盛り込んだ答申を作り上げていただいたので、感謝申し上げます。ありがとうございました。

会 長： 全国では数多くの地方自治体がございますが、金融機関の本店が2つある区は非常にめずらしいです。そういった意味で言いますと巣鴨信用金庫、東京信用金庫が豊島区にあるということは本当に心強いということでもあります。是非とも今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。ありがとうございました。続きまして丸山委員お願いいたします。

委 員： この2年間一所懸命勉強させていただいて、実は行政と私たちは近い距離にいたことがこの審議会でも分かり、非常に勉強になりました。

私たちの支部では政策提言委員会というのができて、先般も課長を呼びまして勉強しました。行政は遠いところだと思っていましたが、意外に一所懸命やっていたらっしゃる、傍にいらっしゃるということが分かったのと、この2年の中で区が一所懸命文化に力を入れていたり、あるいは商店街を活性化させていたり、私たち中小企業を見ていてくれたり、SDGs や世界の流れが行政を通じて私どもに来てくれていると色々なことを感じました。私たちも、行政とともに一所懸命がんばってまいりたいと思いますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

会 長： 次の委員お願いいたします。

委 員： 2年間本当にありがとうございました。この2年というのは前代未聞、会うこと

もままならないようなコロナ禍から始まって、法人会でも区でも同じような問題が発生して、私ども大変に苦勞いたしました。皆さまの色々なご指導とかご意見を伺い法人会にもフィードバックさせていただいて、大変良い勉強になったと思います、本当にありがとうございました。

とても良い答申が私たちの努力でできたと思います。これがガイドラインで終わらないことを私たち期待はしておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

会 長： ありがとうございます。次の委員お願いいたします。

委 員： こういう会議が持たれているということ、私どもの意見を申し上げて最終的に区長に提案できるということ、非常に感動しておりますし、続けていただきたい体制だと思っております。

商工会議所はパンデミック前は事業承継や人手不足にシフトしておりまして、M & A や金融などは出ていなかった。パンデミックになって緊急的にまさに融資体制はご苦勞されたのではと思います。一方でこういう会議を含めて情報の連携がよくできたと思います。

また、コロナによって今まで見えていなかった実態が出てきたと思います。DX という言葉が出ていますが、一つはバーチャルにシフトし過ぎている部分があると思います。リアル・エッセンシャルのものが希薄化してしまったのではないかと、その反動で動物園に人があふれ始めているというやり戻しが起きているらしいです。生の動物を見てみたい、生の野菜を見てみたい、そういう風にシフトしていると感じています。

我々商工商店街が変わりゆく中で、豊島区に導いてもらうためにこのような会議を持っていただいて、お進みいただければというのが私の所感です。どうぞよろしく願いします。

会 長： ありがとうございます。次の委員お願いいたします。

委 員： 2年間勉強させていただきまして本当にありがとうございます。

この2年間というのは1年半以上コロナということで皆さんも大変ご苦勞されたと思います。コロナは収束に向かいつつありますが、現実問題としてはまだ商店街のシャッター化など、かなり空室が目立っています。特にサンシャインの付近は空洞化が目立つ。

また、先日人事委員会からの発表がありましたが、ボーナスの一部カット、給与も現状維持でそれほど値上げは無いということで、株価等はバブルの頃に近い数字を出しておりますが、実態としましては良い感じというものはない。これからも商店街含めまして、区の方の助成等が無いとかなり厳しい状態が続くと思いま

す。答申ということで出させていただいておりますが、区の援助が無い限り私ももう一回浮上することは無いだろうと思っておりますので、これから先もよろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。

会 長： ありがとうございます。次の委員お願ひいたします。

委 員： 前回出席できなかったため書類上でこの答申も含めてこれまでの経過を拝見させていただきまして、皆さまのご苦勞がここでしっかりと示されたのかなという風に考へているところでございます。

今コロナが落ち着いてきている状況の中で豊島区は、プレミアム付商品券やマーケットのイベント開催も含めて、先進的に取り組み、実践力があると感じております。

先ほどゼロゼロ融資の話も出ていましたが、この融資の返済の期日を早々に迎える事業主・企業主もいると聞いています。返済のためにも、投資も含めてこういったイベントをきっかけに経済の活性化のために豊島区で先進的に実行していただければと期待をしています。

我々も一機関ではございますが連携ということを日頃から心に感じているところでございます。一つの区だけではなくて近隣区、各団体、金融機関等々皆さまの連携が経済を回していくと感じていますので、引き続き手を取り合せて、中小企業のために頑張っていきたいと考へてございます。本当にありがとうございました。

会 長： ありがとうございました。最後に副会長お願ひいたします。

副 会 長： 2年間ありがとうございました。私は豊島区の女性のための起業塾の講師をやっております、7期目になります。だんだん創業が実現していく女性の方が増えていてとても嬉しく思っています。

豊島区は女性のための創業支援にかなり力を入れていて、色々な施策があり、皆さん喜んでいらっしゃいます。創業の方はだいぶよくなっているのですが、コロナ禍において事業承継が後ろ倒し・後回しになっている企業が見受けられますのでその支援と、DXの方は国がかなり進めています、先ほど区長もおっしゃったように一人も取り残さずということですので、IT関係の支援も専門家派遣等を使い進めていただけたらと思っております。以上でございます。

## 5 閉会

会長： ありがとうございます。すべての委員の方からご発言いただきましたが、この2年間で振り返りますと、まずはメンバーの多様性、ステークホルダーの方々がそれぞれの立場で参加し、立場を超えた形で豊島区をどうするのかということをご発言いただき議論できたのは本当に素晴らしいことではなかったかと思っております。

もう一つは、単に行政にどうしてほしいということではなく、こういうような区にしてほしい、こういう風にすれば変わるんだという非常に主体的な発言が多くみられ、それが今回の答申に反映され、皆さまのご尽力ですばらしい答申が出来上がったと考えております。

三点目には、豊島区がジェンダーバランスを考えているところです。この委員会の中にも4名の女性の委員も参加されておりますが、口で言うのは簡単ですが人数を揃えるというのは難しいところがございます。それをしっかりイメージ的にやっている、そういう委員会だったということが本当に素晴らしいことではないかと考えております。

今回の答申はコロナ禍において早く現状に戻したい、戻ってほしいとそういう願いがございますが、ただ単に元のままの形に戻るのではなくて、このコロナ禍で得た様々な教訓を活かし、新しい価値観に基づく新しいまちづくりを含めた復帰ということが今の豊島区に求められているのではないかと考えております。その時に大事なのはできるかできないかのような二者択一的な考えではなく、どうすればできるのかという、そういった前向きな姿勢が豊島区に新しい価値を生み出すと考えております。

こういう時だからこそ、ピンチはチャンスに変えることができる。豊島区はそのために区長を先頭にして豊島区モデルというものを様々な形で実行してきましたが、それは豊島区に限らず23区、東京全域、あるいは全国に広がっていく、そのようなまさに「一隅を照らすはこれすなわち国の宝なり」という言葉がございますが、まさに豊島区の取り組みが豊島区だけではなく全国に広がっていく、そのような光輝くものになったという風に考えております。このようなすばらしい答申ができましたのも、委員の方々すべてのお力だと考えております。本当に2年間ありがとうございました。

会長： 最後に事務局から連絡事項等ございましたら、お願いいたします。

生活産業課長： 事務局より事務連絡をさせていただきます。今日の審議会の議事録につきましては、1か月以内に作成いたしまして事務局案を委員の皆さまに送付いたします。修正等ございましたら、ご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

今後のスケジュールについてですが、2年間の任期のため、11月7日をもって、皆さまの委員としての任期が満了となります。本日が最後の会合となっております。その後、事務局で来年度からの新たな委員の改選準備を行います。令和4年4月より新たな委員で引き続き産業振興指針について議論を進めてまいりたいと思っております。

最後に、チラシをつけてございますが、IKE・SUN PARK・FARMERS MARKET、10月30日より毎週土日開催します。是非お立ち寄りいただければと思っております。また食品関係の出店者を募集しておりますので、こちらも周知していただければと思います。

もう一枚が豊島区プレミアム付き商品券のチラシです。10月31日が申し込み期間となっております。デジタル商品券の方はまだ販売に余裕がありますので、ぜひとも購入していただければと思っておりますので豊島区在住在勤の方、こちらもぜひご周知していただければと思っております、よろしく願いいたします。以上となります。

会 長： ありがとうございます。以上をもちまして第4回豊島区商工政策審議会を閉会します。委員の皆さまにはこの2年間、様々な形でご協力いただきましてどうもありがとうございました。